

第21回宝塚混声合唱団音楽会

2009年7月18日(土)

いたみホール (伊丹市立文化会館)

開場 PM 2:00 開演 PM 2:30

主催：宝塚混声合唱団

後援：宝塚市・伊丹市・宝塚市教育委員会・宝塚市文化振興財団・宝塚合唱連盟

ごあいさつ

本日は私たち宝塚混声合唱団音楽会にお越しいただき誠にありがとうございます。
今回は、4つの全く違う分野のそれぞれ言語も異なる曲に挑戦します。

まず、第1ステージは松下耕作曲の混声合唱とピアノのための「信じる」です。私たちはこの「信じる」という言葉が好きです。「仲間を信じる」「自分を信じる」非常に難しいことですが、一人でも多くの方が「信じる」ことで生きる活力を得て、勇気や希望をもつことができればと願います。

第2ステージはラインベルガーのレクイエムです。本当にきれいな曲で、皆様の心にこの美しい旋律が響くものと信じて歌いあげたいと思います。

第3ステージはブラームスの四重唱です。精緻で詩情豊かな美しい音楽、四重唱の魅力をご堪能下さい。また、プログラムに記載しております美しい訳詩も合わせてお楽しみ下さい。

最後を飾る第4ステージは、がらりと雰囲気を変えて、ドラムとベースとピアノによるロバート・レイのゴスペル・ミサを取り上げました。これまで取り組んできた曲調とは大きく異なるものであり、私たちとしては一種チャレンジの曲でもあります。これまで積み重ねてきた練習で宝塚混声らしくどこまで表現できるのか楽しみでもあります。魅力的な合唱音楽の世界が創造できればと思います。

さて、音楽会を企画してから本日に至るまで、大森先生ご指導のもと発声・表現法の研鑽・強化合宿などを重ね、1年をかけて取り組んできました。また、共演して頂くベース、ドラム、コントラバスの演奏家そしてピアニストの方々など多くの関係者にご協力頂き、本日の音楽会を迎えることになりました。感謝申し上げます。

本日の演奏が、皆様の心に響き感動を共にすることができれば幸いです。

最後までごゆっくりご鑑賞いただき、今後とも宝塚混声合唱団の活動にご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2009年7月 宝塚混声合唱団



Program

I

混声合唱とピアノのための「信じる」

谷川 俊太郎 作詩・松下 耕 作曲

ふるさとの星

ピアノ 田中 一花

くり返す

泣けばいい

信じる

II

Requiem in d Op.194

J. G. Rheinberger 作曲

Introitus et Kyrie

ピアノ 村田 朋子

Tractus

コントラバス 田中 寿代

Offertorium

Domine Jesu Christe

Hostias et preces

Sanctus

Benedictus

Agnus Dei et Communio

休憩

III

Vier Quartette Op.92

J. Brahms 作曲

O schöne Nacht

ピアノ 田中 一花

Spätherbst

Abendlied

Warum

IV

GOSPEL MASS

ROBERT RAY 作曲

KYRIE — Lord have mercy

ピアノ 山本 京子

GLORIA — Glory to God in the highest

ベース 木村 優一郎

CREDO — I believe in God

ドラム 三國 智

ACCLAMATION — Hallelujah, Praise the Lord

SANCTUS — Holy, holy Lord God of hosts

AGNUS DEI — Lamb of God

指揮：大森 地塩

混声合唱とピアノのための「信じる」……………谷川 俊太郎 作詩・松下 耕 作曲

2006年、三多摩青年合唱団により初演された混声合唱とピアノのための「信じる」は、作曲のみならず指揮・合唱指導においても著名な松下耕の作品です。終曲の「信じる」は2004年NHK全国学校音楽コンクール中学部の課題曲として生まれました。その後、「ふるさとと星」「くり返す」「泣けばいい」が加えられ、4曲からなる組曲「信じる」となりました。4曲の詩はそれぞれ作られた時期が異なりますが、谷川俊太郎によるものです。

「ふるさとと星」では、地球の現実を憂いながらも、いつまでもふるさとは緑であってほしいと願います。ピアノとともに波のように穏やかに繰り返す旋律は、永遠の時を表すようです。しかし、「くり返す」では、過ちも後悔も繰り返すことができても、人の命は繰り返せないと命の尊さを叫びます。おろかな人間を戒める厳しさが伝わるでしょうか。

第3曲の「泣けばいい」は、ガラッと雰囲気かわります。哀しみや悔しさに泣く大人を受けとめてくれる、ゆるりとした優しさとその先に見える立ち直りへの期待が感じられる曲です。組曲のテーマとなっている終曲「信じる」では、メロディがことばにあわせてどんどん変化していきます。信じることに理由はいらないと強く言い切りながら、信じることによって生まれる心の平安や希望が、私たちを明るい気持ちにさせてくれます。

私たちは詩のことばを大切にしながら、各パートがお互いに信じあい、また自分を信じて練習を重ねてまいりました。作詞者・作曲者が伝えたかったことを、私たちも皆様に伝えることができると信じて歌います。「信じる」ことによって強くなり、生きるエネルギーと希望をもつことができますように。

(解説：A. 西岡 有香)

■ ふるさとと星

果てしない海原の胸に抱かれて
よみがえりよみがえりやまぬ生命よ
荒野にも人知れず野花は開き
傷ついた蝶をいざなう
我がふるさとと星 地球はみどり

故しらぬ宇宙の時の流れに
くりかえしくりかえしやまぬ歴史よ
憎しみも喜びも終わらぬままに
沈黙の大地にいこう
我がふるさとと星 地球はみどり

めくるめく青空の瞳みつめて
あこがれあこがれやまぬ我等よ
月へゆくおおいなる船より望む
せめぎあう人の住む故郷(くに)
我がふるさとと星 地球はみどり

「空に小鳥がいなくなった日」より

■ くり返す

くり返すことができる
あやまちをくり返すことができる
くり返すことができる

後悔をくり返すことができる
だがくり返すことはできない
人の命をくり返すことはできない
けれどくり返さねばならない
人の命は大事だとくり返さねばならない
命はくり返せないとくり返さねばならない
私たちはくり返すことができる
他人の死なら
私たちはくり返すことはできない
自分の死を

「その他の落首」より

■ 泣けばいい

泣けばいいんだ泣けばいい
哀しいときは泣けばいい
泣けば菜の花涙にゆれる
泣けば鳥もカアと鳴く

泣けばいいんだ泣けばいい
ひとりのときは泣けばいい
遠い誰かに届けとばかり
風もいっしょにむせび泣く

泣けばいいんだ泣けばいい

苦しいときは泣けばいい
泣いてどうなるものでもないが
泣いてはらそう曇り空

泣けばいいんだ泣けばいい
泣きたいときは泣けばいい
まぶたはらして鏡を見れば
いつか笑いがこみあげる

「そのほかに」より

■ 信じる

笑うときには大口あけて
おこるときには本気でおこる
自分にうそがつけない私
そんな私を私は信じる

信じることに理由はいらない

地雷をふんで足をなくした
子どもの写真目をそらさずに
黙って涙を流したあなた
そんなあなたを私は信じる
信じることでよみがえるいのち

葉末の露がきらめく朝に
何を見つめる小鹿のひとみ
すべてのものが日々新しい
そんな世界を私は信じる
信じることは生きるみなもと

[JASRAC 出 0907152-901]

II

Requiem in d Op.194 J. G. Rheinberger 作曲

J. G. Rheinberger (ヨーゼフ・ガブリエル・ラインベルガー、1839～1901) は、1839年にリヒテンシュタイン国の首都ファドゥーツに生まれた。7才でこの地のバリッシュ教会のオルガン奏者となり、12才でミュンヘン音楽大学に入学した。21才の時、同大学のピアノ演奏の教授となったが、翌年に大学が解散したため、聖ミハエル教会のオルガン奏者となった。

作曲の面では、20曲のオルガン・ソナタが有名であるが、そのほかに宗教曲、室内楽曲、ピアノ曲も多く、近年再評価が進みつつある。

今回演奏するのは、レクイエム 二短調、作品194番で、死の前年の1900年に発表されたものである。ラインベルガーが生涯に作曲したミサ曲の多くは、無伴奏のものであったが、晩年のミサ曲はオルガン伴奏による混声合唱のものに集中している。とくにオルガン伴奏のミサは、ラインベルガーの教会音楽の目標であり、隅石といわれており、オルガンが4声の混声合唱を支えている。ただミサ曲でありながら、Dies Iraeは省かれている。

(解説：B. 森 恒夫)

Introitus et Kyrie

Requiem aeternam dona eis Domine: et lux perpetua
luceat eis.

Te decet hymnus Deus in Sion, et tibi reddetur
votum in Jerusalem: exaudi orationem meam, ad te
omnis caro veniet.

Kyrie eleison. Christe eleison.

入祭唱とあわれみの賛歌

主よ 彼らに永遠の安息を与えてください そして
絶えることのない光が彼らを照らしますように
神よ シオンで賛歌はあなたにふさわしい そして
誓いはエルサレムであなたに果たされる
私の祈りを聞いてください すべて肉なる人はあなた
のもとに来るでしょう
主よあわれんでください キリストよあわれんでく
ださい

Tractus

Absolve, Domine, animas omnium fidelium defunctorum ab omni vinculo delictorum.

Et gratia tua illis succurrente, mereantur evadere judicium ultionis.

Et lucis aeternae beatitudine perfrui.

Offertorium

Domine Jesu Christe

Domine Jesu Christe, Rex gloriae, libera animas omnium fidelium defunctorum de poenis inferni: et de profundo lacu:

libera eas de ore leonis, ne absorbeat eas tartarus, necadant in obscurum:

sed signifer sanctus Michael repraesentet eas in lucem sanctam:

Quam olim Abrahae promisisti, et semini ejus.

Hostias et preces

Hostias et preces tibi Domine laudis offerimus:

Tu suscipe pro animabus illis, quarum hodie memoriam facimus:

fac eas, Domine, de morte transire ad vitam.

Quam olim Abrahae promisisti, et semini ejus.

Sanctus

Sanctus, Sanctus, Sanctus Dominus Deus Sabaoth. Pleni sunt coeli et terra gloria tua. Osanna in excelsis.

Benedictus

Benedictus qui venit in nomine Domini.

Osanna in excelsis.

Agnus Dei et Communio

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: dona eis requiem(sempiternam).

Lux aeterna luceat eis, Domine: cum sanctis tuis in aeternum, quia pius es.

Requiem aeternam dona eis Domine: et lux perpetua luceat eis.

Cum sanctis tuis in aeternum, quia pius es.

詠唱

主よ 死んだ全ての信者たちの魂を全てのあやまちの縄目から解き放ってください

そしてあなたの恵みをもってそれらの魂を助け 彼らが罰の裁判を免れることが得られるように

そして永遠の光明の至福によって楽しむことも

奉献唱

栄光の王 主イエス・キリスト

栄光の王 主イエス・キリストよ 死んだ全ての信者たちの魂を地獄の罰から また深い淵より解き放ってください

それらをライオンの口から解き放ってください 冥府が呑み込んだり闇の中に落ちたりしないように

そうでなくて旗手聖ミカエルがそれらの魂を聖なる光の中に現すように

かつてあなたがアブラハムそしてその子孫に約束されたように

いけにえと祈り

主よ 私たちは賛美のいけにえと祈りをあなたに捧げます

今日私たちが記念するこれらの魂のためにあなたは受け入れてください

主よ それらの魂を死から生命へ移らせてください

かつてあなたがアブラハムそしてその子孫に約束されたように

神聖な(感謝の賛歌)

聖なる聖なる聖なるかな万軍の主なる神

あなたの栄光は天地に満つ 天の高い所に賛美を

祝福

主の御名によって来られる方に祝福を

天の高い所に賛美を

神の子羊(平和の賛歌)と聖体拝領唱

世の罪を取り除く神の子羊よ 彼らに(永遠の)安らぎを与えてください

主よ あなたは情け深いからとこしえにあなたの聖人たちと共に彼らも永遠の光が照らしますように

主よ 彼らに永遠の安息を与えてください そして絶えることのない光が彼らを照らしますように

あなたは情け深いからとこしえにあなたの聖人たちと共に

(訳: OB会員 長尾 精)

Vier Quartette Op.92 4つの四重唱 J. Brahms 作曲

ヨハネス・ブラームス (1833 ~ 1897) は1857年、ハノーファーの南西部にある小都市デトモルトの宮廷でピアニスト兼合唱指揮者として初めて公職についた。指揮者としての彼は、当時一般に歌われていた聖・俗曲からヘンデルまでをレパートリーとし、また自身で民謡の編曲もしたという。

1859年故郷ハンブルグで自ら女声合唱団を結成・指導したブラームスは、1861年遂にあこがれのウィーンを初訪問、翌年には合唱団ウィーンジングアカデミーの指揮者に就任し、研鑽を積んでいく。ルネサンスやバロックの作品をもレパートリーに加えたこの合唱指揮者としての経験が、ロマン派であると同時に古典の香気もたどようブラームスの芸術創造の糧となったと言えるだろう。

ブラームスの声楽曲の代表作は言わずと知れた「ドイツレクイエム」であるが、このほかにも多くの曲を作曲している。

「Vier Quartette Op.92」は、緻密でかつ歌心に溢れた名作である。

第1曲：明るい月の周りには、仲間の星たち。ナイチンゲールが歌い、若者がそっと足音を忍ばせて恋人のもとに向かう…まるで絵本か舞台を見ているかのような詩と音楽。

第2曲：木々はすっかり葉を落とし、鳥も歌うのをやめてしまった。長く厳しい冬が迫っている。灰色の霧に覆われていく晩秋が、半音階的に進行する旋律によって表現されている。

第3曲：昼と夜がせめぎ合う夕暮れ。苦悩がいつしか消えてしまったことにとまどい、不思議な安らぎと漂浮感につつまれる様子が、巧みな転調と旋律によって織り出されている。

第4曲：場面は再び夜。歌声は天へ、月へと昇っていく。第1曲で歌われた「月と星」を引き寄せようとしているかのよう。至福の時を感じさせる曲である。

第1曲は1877年、第2～第4曲は1884年に作曲された。

(解説：T 石原 紳自)

Nr 1. O schöne Nacht

O schöne Nacht ! Am Himmel märchenhaft
erglänzt der Mond in seiner ganzen Pracht; um ihn
der kleinen Sterne liebliche Genossenschaft.

Es schimmert hell der Tau am grünen Halm;
mit Macht im Fliederbusche schlägt die Nachtigall;
Der Knabe schleicht zu seiner Liebsten sacht.

Nr 2. Spätherbst

Der graue Nebel tropft so still herab auf Feld und
Wald und Heide, als ob der Himmel weinen will in
übergroßem Leide.

Die Blumen wollen nicht mehr blühen, die Vöglein
schweigen in den Hainen,
es starb sogar das letzte Grün, da mag er auch wohl
weinen.

Nr 3. Abendlied

Friedlich bekämpfen Nacht sich und Tag; wie das
zu dämpfen, wie das zu lösen vermag.

Der mich bedrückte, schläfst du schon, Schmerz?

おお 美しい夜 ハンガリーの詩からDaumer訳

おお美しい夜！ 空には月がおとぎ話のように見事に輝き その周りに愛らしい仲間の小さな星たち

緑の茎に露が清くかすかに光り にわとこの茂みで
ナイチンゲールが力強く啼く
少年は恋人のところへそっと忍び歩く

晩秋

Allmers詩

灰色の霧が野や森や荒れ野に静かに下りてくる
まるで空があまりの悲しさに泣きだそうとしているように
花たちはもはや咲こうとせず 小鳥たちも林の中で沈黙する
最後の緑さえ死んだ さあ 空も思いきり泣くがよい

夕暮れの歌

Hebbel詩

夜と昼が穏やかに対立している どのようにしてそれを和らげるのか どのようにしてそれを解決できるのか
私の心を重くした苦しみよ お前はもう眠っているのか

Was mich beglückte, sage, was war's doch, mein Herz?

Freude wie Kummer, fühl ich, zerrann, aber den
Schlummer führten sie leise heran.
Und im Entschweben, immer empor, kommt mir das
Leben ganz wie ein Schlummerlied vor.

Nr. 4 Warum

Warum doch erschallen himmelwärts die Lieder?
Zögen gerne nieder Sterne, die droben blinken und
wallen, zögen sich Lunas lieblich Umarmen, zögen
die warmen, wonnigen Tage seliger Götter gern uns
herab!

何が私を幸せにしたのか 言って欲しい 一体それは
何だったのか 私の心よ
私は感じる 喜びも悲しみも流れ去り 眠りをそっと
近づけたと
そして絶えず空高くふわふわと飛び去る中で私には人
生が全く子守歌のように思われる

なぜ

Goethe詩

一体歌はなぜ天に向かって響きわたるのか?
それは天上できらきら光り 静かに歩む星たちを引き
下ろしたいのだろう 月の女神の愛らしい抱擁を自
分に引き寄せたいのだろう 幸せな神々の暖かく喜
びに満ちた日々を私たちに引き下ろしたいのだろう
(訳: OB会員 長尾 精)

IV

GOSPEL MASS ゴスペル・ミサ ROBERT RAY 作曲

ゴスペル・ミサはアフリカ系アメリカ人のロバート・レイ (1946 ~) が1978年に作曲したミサ曲でラテン語でなく英語で歌われる。1963年にカトリックの総本山であるバチカンが典礼に現地語を使うことを認めたことから、世界各地で現地語によるミサ曲が作曲されるようになった中のひとつである。ミサ曲のラテン語はミサ通常文と呼ばれ、格調高いが極めて凝縮され抽象的である。これに比べ、ゴスペル・ミサの歌詞は原文を平易な言葉に置き換え、時には大胆に意識して親しみやすい。また一般のミサ曲と異なりCREDOのあとにACCLAMATIONという神を賞賛する曲が挿

入され、歌い手が心をついにハレルヤと歌う。これらがゴスペル・ミュージック独特のリズム・メロディーと相俟って、祈りの現場の熱気をストレートに伝えてくる。ロバート・レイ自身がこの曲について語っている言葉がある:「何世紀もの古い伝統を持つミサ曲を現代黒人教会のサウンドに結びつけるのが私の望んでいることです。(歌詞が) ラテン語から英語へ変わることで、作曲者はミサ通常文のテキストについて抱く感情を表現する新しい機会を得ました。私は、アフリカ系アメリカ人が礼拝のとき感じる喜びと祝いの気持ちを全ての人に経験して欲しかったのです。」

KYRIE — Lord have mercy

In the name of the Father, in the name of the Son, in
the name of the Holy Spirit, the Blessed Three in One.
Oh Lord have mercy. Kyrie eleison.
Oh Lord have mercy on me.
Send us a Savior, set my soul free.
Give us Your word and teach us to pray.
I want to praise and serve You always.
Lord God of Abraham, Isaac and Jacob
look down, have mercy upon us.
Oh Christ have mercy. Christe eleison.
Oh Christ have mercy on me.
Send us Your comfort, grant us Your peace.

主よ、憐れんでください

父のみ名において、み子のみ名において、聖霊のみ名
において、神聖なる三位一体。
主よ、憐れんでください。キリエ・エレイソン。
主よ、私を憐れんでください。
私たちに救い主を送り、魂を自由にしてください。
私たちに言葉を与え、祈ることを教えてください。
私は常にあなたをほめたたえ、仕えていたい。
アブラハム、イサク、ヤコブの神なる主よ、
私たちをみまもり、憐れんでください。
キリストよ、憐れんでください。クリステ・エレイソン。
キリストよ、私を憐れんでください。
私たちに憩いと平安を与えてください。

You are the way, the truth and the light.
I love You more each day and each night.
Jesus, the Rock of salvation, the Light of the world,
have mercy upon us.

GLORIA — Glory to God in the highest

Glory to God in the highest, peace to all men of good will.
We praise Thee, we bless Thee, we adore Thee, we glorify Thee.
We give thanks to Thee for Thy great glory.
Lord God, King of heav'n Father, Almighty One.
Glory be to Jesus Christ, Lamb of God, the Father's only Son.
Thou who takes away all the sins of the world have mercy on us.
Thou who takes away all the sins of the world, receive our prayers.
Thou who sits at the right hand of God the Father Almighty in heav'n have mercy on us.
Only Thou art holy, only Thou art the Lord.
Only Thou art holy, only Thou art most high.
We come to praise Your name today,
we want to serve You in ev'ry way.
Let the loud hosannas ring,
shouting the praises to God our King.
In the Name of the Father. In the Name of the Son.
In the Name of the Holy Ghost. The Blessed Three in One. Amen!

CREDO — I believe in God

I believe. I believe in God the Father Almighty.
Maker of heaven and earth.
And in Jesus Christ His only Son our Lord.
Who was conceived by the Holy Ghost.
Born of the Virgin Mary, suffer'd under Pontius Pilate,
crucified, died and was buried, He descended into hell.
On the third day He arose, He ascended to heaven,
from death He was set free.
Now He sits at the right hand and He's waitin' for you and me.
He will judge all the world. He will judge you and me.
I believe in the Holy Spirit and the Holy catholic church.
I believe Lord in one baptism for the remission of sin and rebirth.
I believe in the resurrection and the communion of saints in this world.
I believe when my life is over
I'm going home just to live with my God.
I believe in God, and in the Holy Ghost.
I believe in God!

あなたは道、真実そして光。
私は日ごと夜ごとにますますあなたを慕います。
イエス、救いの岩、世の光、
私たちを憐れんでください。

いと高きところには神に栄光あれ

いと高きところには神に栄光あれ、全ての善意の人に平安あれ。
私たちはあなたをほめ、あなたをたたえ、あなたをおがみ、あなたをあがめる。
私たちはあなたの大きな栄光のゆえに感謝を捧げる。
神なる主、天の王なる父、全能の神。
イエス・キリスト 神の小羊、み父のひとり子に栄光あれ。
世の全ての罪を除くあなた、
私たちを憐れんでください。
世の全ての罪を除くあなた、
私たちの祈りを受けいてください。
天におられる全能の父なる神の右に座しておられるあなた、私たちを憐れんでください。
あなただけが聖、あなただけが主、
あなただけが聖、あなただけが最も高い。
今日、私たちはあなたのみ名を讃えるために来ました。
私たちはどんなときにもあなたに仕えていたい。
大声でホサナを響かせよう、
私たちの王である神に賛美の叫びを。
父のみ名において、み子のみ名において、聖霊のみ名において、
神聖なる三位一体。アーメン！

私は神を信じる

私は信じる、全能の父なる神を。
天と地の創り主を。
そしてイエス・キリスト 私たちの主なるひとり子を。
聖霊によって宿った方。
おとめマリアから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架にかけられ、死に、葬られ、陰府にくだった。三日目によみがえり、天に昇り、死から解放された。
今や、父なる神の右に座って、あなたや私を待っておられる。
彼は世の全てを裁くだろう。彼はあなたや私を裁くだろう。
私は信じる、聖霊と聖なる公教会を。
私は信じる、罪の赦しと復活のための唯一の洗礼を。

私は信じる、死者のよみがえりとこの世の聖徒の交わりを。
私は信じる、命が終わるとき天のみ国で神とともに生きることを。
私は信じる、神を、聖霊を。
私は神を信じる！

ACCLAMATION — Hallelujah, Praise the Lord

Hallelujah; Praise the Lord. Let us praise the Lord.
Praise Him with stringed instruments. Praise Him
with dance. Praise Him on the psalt'ry and harp.
Ev'rything that has breath ought to praise Him.
Hallelujah. Let us praise the Lord.

SANCTUS — Holy, holy Lord God of hosts

Holy, holy, Lord God of hosts.
Hosanna be to Thee in the highest Who gave me
victory.
There was a man sittin' by the roadside;
he was blind he could not see.
Then the Master of the earth and skies;
touch'd his eyes and he Look'd around saying
Holy, holy, Lord God of hosts.
Hosanna be to Thee in the highest Who gave me
victory.
Another man lay by a poolside;
thirty eight years with his infirmity.
Then the Lord troubled the water;
the man arose and he Jump'd for joy saying
Holy, holy, Lord God of hosts.
Hosanna be to Thee in the highest Who gave me
victory.
Blessed is He who comes in the name of the Lord,
we will always sing Thy praise.
Hosanna in the highest. Sing hosanna in the highest.
Like the blind man and the lame man,
I was lost, living in sin.
Then I opened up my heart one day, I let the Savior in.
Now I shout saying
Holy, holy, Lord God of hosts.
Hosanna be to Thee in the highest Who gave me
victory.
Holy, holy Lord Jesus. Holy!

AGNUS DEI — Lamb of God

Lamb of God who takes away the sins of the world,
have mercy on us.
For You came to die for me, suffer'd, bled, and died,
died on Calvary.

In Your word You showed us how,

we are trying Lord, hear our pray'r right now.

Lamb of God who takes away the sins of the world,
grant us Thy peace.
Amen.

ハレルヤ主を賞賛せよ

ハレルヤ、主を讃えよ。ともに主を讃えよう。
讃えよ、弦楽器で。讃えよ、舞で。讃えよ、横琴と豎
琴で。
全て息あるものは、主を讃えるべきである。
ハレルヤ。ともに主を讃えよう。

聖なるかな、万軍の主

聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。
いと高きところにおられ、私に勝利を与えてくださった
あなたにホサナ。
道端に座る男がいた；
盲目でものを見ることが出来なかった。
そして大地と空の主が彼の目に触れると、
彼はあたりを見まわして叫んだ
聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。
いと高きところにおられ、私に勝利を与えてくださった
あなたにホサナ。
別の男が池の端に横たわっていた、
38年の間病んでいた。
そして主が水を動かすと、
男は起き上がり喜び跳びはねて叫んだ、
聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。
いと高きところにおられ、私に勝利を与えてくださった
あなたにホサナ。
賞め讃えよ、主のみ名によって来られる方を、
私たちは絶えずあなたを賛美して歌う。
いと高きところにホサナ。歌え、いと高きところにホサナ。
目の見えない人や足の不自由な人のように、
わたしは道に迷い、罪に生きていた。
そしてある日わたしの心は開き、救い主を迎え入れた。
今やわたしは叫んで言う、
聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。いと高き
ところにおられ私に勝利を与えてくださったあなたに
ホサナ。
聖なるかな、聖なるかな、主イエス、聖なるかな！

神の子羊

神の小羊、世の罪を取り除く方、私たちを憐んでくだ
さい。
あなたは私のために死にに來られた、苦しんで、血を
流して、死んでくださった、カルヴァリの地で死んでく
だされた。
み言葉によってあなたは私たちにどうすべきかを示して
くださった、
私たちは立ち向かっています、私たちの祈りを今すぐ
聞いてください。
神の小羊、世界の罪を取り除く方、私たちに平安を与
えてください。
アーメン。

(解説・訳：B 井上 喜光)